

人事

6月定例会において、次のとおり選任・推薦することに同意しました。

〔人権擁護委員〕

〔任期：平成28年10月1日～平成31年9月30日〕

大橋 純 氏

大浦 なつ 氏

議員表彰

去る5月31日に開催された第92回全国市議会議長会定期総会において、次の方が表彰されました。

◎一般表彰

（正副議長4年以上）

元議長 保科 惣一郎 氏
元副議長 安藤 佳生 氏

請願

◎請願第1号・白川中学校の存続に関する請願

紹介議員 佐藤 龍彦

○請願の趣旨

本年5月、白石市教育委員会は、白川中学校を平成31年4月1日に東中学校に統合するということと、本年度内に統合に係る「学校統合準備委員会」を設置し進めていくとの方針を示している。しかし、各々の説明会以降、白川地域住民、白川出身の住民の方々から、統合に反対する声が多く寄せられるようになった。そこで、白川中学校の存続を求める請願をする。

○請願の理由

1. 白石市教育委員会は、保護者、PTA、自治会、地域における説明会を実施しているが、一方的とは言われないまでも、統合ありきの説明で

あつて、各々の説明会における話し合いも極端に少なく、十分ではなかったと考える。2. 毎年新入生は少ないものの、0人ではないので、小規模校、複式学級の利点をいかすべきではないのか、少数だからこそできる教育もあると考える。地域住民にとつて伝統ある母校を、こんなに簡単に失いたくない。

3. 学校は地域の文化・防災拠点となっており、学区拡大すれば学校と地域の関係が弱まると考える。また、地域から学校が無くなることで地域住民の交流の場が失われ、若者の市街地への流出を促し、人口減少と過疎化に拍車をかけるのではないかと懸念される。それから、定住促進に奮闘している地域住民に冷や水を浴びせ「地方創生」にすら逆行するのではないかと考える。

以上のことから、白川中学校の統合に関しては時期尚早と

考え、白石市教育委員会が進めようとしている統合に反対し、白川中学校の存続を求める請願をする。

請願者

住所 白石市(以下省略)
氏名 白川の子供と教育を

考える会
代表 平間和昭
ほか1千343名

平成28年6月3日

※審査の内容や結果については、常任委員会のページをご覧ください。

議会を傍聴してみませんか！

9月定例会は、9月1日(木)

午前10:00開会予定です。

また、インターネットで議会中継の視聴もできます。

●6月定例会の傍聴者数 55人

●ライブ中継視聴者数 547人

編集後記

熊本県を中心に発生した一連の地震の映像は、5年を経過した東日本大震災の経験を思い起こさせ、あらためて地震対策の重要性を再認識しております。

6月定例会において、補正予算案が提案され、被災地である熊本県益城町に対して職員を派遣し、復旧を支援することとなりました。

さて、本市では少子高齢化社会が及ぼすさまざまな問題が表面化しており、議会として正面から向き合う局面が多くなると思われまふ。

これからも市民の皆さまの声を大事にして、積極的な情報を発信してまいります。

議会広報委員会

保科 善一郎

議会広報委員会 委員	子 恭
委員長	野 管
副委員長	藤 佐
委員	藤 佐
委員	科 保
委員	善 善
委員	大 大
委員	町 四
委員	藤 佐
委員	山 山
委員	野 松
委員	久 一
委員	郎 裕
委員	信 秀
委員	夫 行
委員	英 裕
委員	一 久